



思いを語り合った 人権七夕集会

7月6日（水）、「人権七夕集会」を行いました。

集会前半の「なかよし班（縦割り班）」での活動では、誰もが笑顔で安心して過ごせる学校にするために、一人一人が短冊に書いた目標を交流しました。「あったか言葉をつかう」「毎日笑顔であいさつをする」といった目標を語り合いながら、大切にしたいことを確認していました。



集会後半は、各学年で取り組んできたことや成果を発表しました。（以下、主な発表内容）

6年生は、あったか言葉を使う、マイナス発言なしで、前向きでお手本となるクラスを目指したこと。

5年生は、授業で「分かりました」「すごいです」など、仲間のよさを伝えるあたたかい反応。

4年生は、安心してすごせる学級をめざして、教え合い、あたたかい言葉を使っていること。

3年生は、あいさつを大切にしていることと、仲間のよびかけに応えること。

2年生は、一人ひとりにあいさつをすることや、やさしい言葉での呼びかけをしていること。

1年生は、みんなが気持ちよく生活できるクラスになるよう、言葉かけを大切にしていること。



集会では、**郡上市人権擁護委員**の方のお話を聴きました。

お話では、「何かあったとき自分一人で悩んでいないで、誰かの助けを借りるようにしてほしい。もし、お家の人や先生など身近な人に相談できなくても、SOSレターなどいろいろな方法があるということを覚えておいてください。」と話されました。



これまで、全校で仲間のよさ見つけに取り組んできました。学校内のホール掲示板にも、たくさん見つけたよさが紹介されています。よさを認めてもらった人はきっと自信がつくでしょう。この活動を通して高鷲北小が笑顔あふれる学校になることを願っています。



※ 人権七夕集会の最後に、みんなで集合写真を撮りました。

いにしえの都をたっぴりと味わった「修学旅行」

6月30日(木)～7月1日(金)の1泊2日で、6年生が修学旅行に行ってきました。昨年度に引き続き、高鷲小学校6年生との合同修学旅行(児童30名、引率職員5名)として、2日間とも奈良を訪れ、いにしえの都を堪能してきました。

行程 第1日 学校 → 平城京跡 → 昼食 → 薬師寺 → 唐招提寺 → 宿泊先
第2日 宿泊先 → 奈良公園(東大寺→班別研修) → 昼食 → 法隆寺 → 学校

社会科の学習で学ぶ、「平城京の朱雀門」や「東大寺南大門の仁王像」「東大寺の盧舎那仏」、さらに「興福寺の阿修羅像」「法隆寺の五重塔や玉虫厨子」をはじめ、本物の大きさや形、色、存在感をしっかりと感じながら見てくることができました。「国宝」をたくさん見ることができたのも、貴重な経験となりました。

また、それぞれの見学先について、事前にそれぞれの学校で**調べ学習**をていねいに行い、行きのバスの中では「学習タイム」と称して見学前に改めて予習するなど、大変意欲的に進めることができました。さらに、見学中には、班ごとのカメラ係さんが、それぞれの建物を撮影したり、撮影可能な展示物を記録に残したりするなど、修学旅行後のまとめまで考えながら活動していました。

修学旅行のお楽しみのひとつに、お土産の購入があります。初日は、興福寺近くの猿沢池あたりのおみやげ物店がずらりと並ぶところで、2日目は法隆寺前の昼食場所のお土産物売り場にて購入しました。家族へのお土産を吟味する姿や、自分自身への記念になるものを選ぶ姿など、この2日間は全国的にも暑さが厳しかったのですが、お土産の時間は暑さを感じることなく生き生きと買い求める姿がありました。

仲間と宿泊を共にして活動した修学旅行は、一生のよりよい思い出になったと思います。高鷲小学校6年生と共に過ごせたことも、来年度以降につながる時間となりました。(↓朱雀門にて)

